

校報 北斗牙ゆる

文責：一関市立舞川中学校 校長 今川 晋

2025年3月13日（木）

～逃げずぼやまじ～

一関市立舞川中学校
学校だより No.14



～卒業おめでとうございます！～



本日、無事に、卒業証書授与式を挙行することが出来ました。関係する皆様方に感謝申し上げます。以下、式辞を掲載させていただきます。

式辞

まずもって、二月に大船渡市で発生した山林火災により、被害に遭われ、今もなお避難生活を余儀なくされている多くの方々があります。困難な状況で今まさに卒業式に臨んでいる中学生もいます。改めて当たり前の日常のありがたさに気付くとともに、被害に遭われた方々に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

このような中、本日は、一関市教育委員会教育委員 桂島 加奈子様、PTA会長 吉田 リカ様をはじめ、多くのご来賓の皆様方と保護者の方々のご臨席を賜り、こうして、卒業証書授与式をとり行うことが出来ました。本当に喜ばしいことです。関係するすべての皆様方に心から感謝申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。皆さんはたった八人という少ない人数で、この学校を立派にリードしてくれました。その重責と重圧は、計り知れないものだったと思います。しかし、皆さんはいつも実直で、飾らないまっすぐな人柄で、春の運動会、秋の舞中祭をはじめ、日常生活や部活動でその重責を見事に果たしてくれました。

皆さんのその姿は、後輩たちに大きな安心感と信頼感を与えました。彼らは安心して皆さんの背中を追いかけることができました。皆さんが示してくれたリーダーシップは、人数だけでは計れない、真のリーダーの姿でした。これからの人生では、さまざまな選択と挑戦の連続ですが、皆さんがこの学校で培った実直さ、誠実さ、そして仲間を思いやる心があれば、どんな困難も乗り越えていけると信じています。

この舞川の地から羽ばたく皆さんの未来が、希望と喜びに満ち溢れたものであることを心から願っています。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。中学校は、心身ともに大きく成長する三年間です。今、凜とした面持ちで、立派に成長した姿を見た時、お一人お一人、感慨深いものがあると思います。私が直接関わったのは一年間でしたが、節目節目でことに当たる三年生を見て、後輩たちはもとより、私たちもたくさんの勇気と感動をもらいました。これからも、それぞれが選んだ道で生活を充実させてくれることを願っています。これまでの学校に対するご理解とご協力に心から感謝いたします。

ご出席いただいたご来賓の方々におかれましても、今後とも引き続き、卒業生へご支援・ご協力をいただければ幸いです。

最後になりますが、卒業生八人の前途を祝し、みなさんの未来が輝かしいものになることを祈念して式辞といたします。

一関市立舞川中学校長 今川 晋

～修了証書授与に決意を込める～

1・2年生のみなさんは、4月からひとつ進級し、それぞれ、2年生、3年生になります。修了式は明日の金曜日に行われ、そこで『修了証書』が渡されますが、そのときまでに、みなさんには、この1年を振り返り、次年度の決意をもってほしいと思います。頭の中でいいです。どんな形でもいいです。例えば、「この1年、自分なりに頑張れた。4月からは、後輩の手本になるように頑張ろう」、「うまく時間のけじめをつけられなかったことがあったけど、3年生になったら、時間をうまく使うぞ！受験生だし！！」のような感じでかまいません。実際の修了証書は、式の後、教室で担任の先生から渡されますが、そのとき、1年を振り返り、次の目標を抱けるか、抱けないか……。たったこれだけでも、春休み以降の過ごし方が違ってきます。新年度のスタートにも影響します。各ご家庭におかれましては、修了式後、ぜひお子さんに、どんな1年だったか、そして、どんな決意をもっているのかを聞いてみてください。励ましやアドバイスをできればなおいいでしょう。これも、やる、やらないでは、その後のお子さんの生活の充実度や、家族との関係に影響してくると思います。少し早いですが、進級おめでとうございます。次年度の活躍、成長を楽しみにしています。

